

令和3年度 奨学後援会新年度役員会資料

学校の概況(令和2年度)

令和3年6月1日

広島商船高等専門学校

目 次

| | |
|-------------------------------------|---|
| ご挨拶（校長 河口 信義） | 1 |
| 学生教育（教務主事 大山 博史） | 2 |
| 1. 主な取り組み | |
| 2. 学校の現状 | |
| 学生支援（学生主事 大和田 寛） | 3 |
| 1. 就学支援・入学金や授業料免除，各種奨学金制度について | |
| 2. 学生会活動支援 | |
| 3. 課外活動支援 | |
| 学寮生活（寮務主事 小林 豪） | 4 |
| 1. 寮生数と再入寮制度について | |
| 2. 寮の現状 | |
| 広報活動（広報主事 平井 剛和） | 5 |
| 1. 令和2年度の主な取組 | |
| 2. 入学生の状況，情報の共有 | |
| 3. 今年度の取組 | |
| 進路指導—商船学科—（商船学科就職担当 茶園 敏文，内山 憲子） | 6 |
| 1. 進路概要 | |
| 2. 求人・求職の傾向 | |
| 3. 進路指導 | |
| 進路指導—電子制御工学科—（電子制御工学科 就職担当 成清 勝博） | 7 |
| 1. 進路の概況 | |
| 2. 進路状況 | |
| 進路指導—流通情報工学科—（流通情報工学科 進路指導担当 岩切 裕哉） | 8 |
| 1. 進路指導（学科の取り組み） | |
| 2. 進路の概況 | |

ご挨拶

校長 河口 信義

この度、令和3年度より広島商船高等専門学校に着任いたしました、校長の河口信義（こうぐち のぶよし）と申します。

奨学後援会会員の皆様におかれましては、本校の発展に寄与するための教育振興助成につきまして、平素よりご理解とご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度は新型コロナウイルスによる感染防止対策の観点から、遠隔方式あるいは学年・学科別の部分的対面方式による授業を実施することにより、会員の皆様方にご負担をおかけしたこと、また全学生に対しましても様々な学校行事などが止む無く中止となり十分とは言えない学生生活を送ることとなりましたことに対しまして、心から申し訳なく思っております。

本年度におきましては、With コロナであることを念頭におきながらコロナ対策を十二分に施した上で、本校学生一人一人がさらに充実した学校生活を送ることが出来ますよう、教職員一同頑張っていく所存でございます。

ここでは主に各担当主事教員から昨年度本校で実施しました学生教育・学生支援・学寮生活・広報活動について、さらに進路指導教員から各学科における進路指導の概要並びにその取組について簡潔でわかり易く報告してもらっていますので、会員の皆様方におかれましては本校の現状を十分にご理解いただきました上で、今まで同様にご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

学生教育

教務主事 大山 博史

1. 主な取り組み

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応：令和2年度は、全学年での授業を5月7日からブラックボードを使用して遠隔で始めました。対面での授業は、6月22日より学年ごとに2週間の授業を始めました。初めに1年生と4年生、次に2年生、その次に3年生と5年生でしたが、島内でのコロナウイルス感染情報が確認されたので、2日間で対面での授業を中止しました。夏休み明けの対面での授業は、8月24日より専攻科生の授業を始め、9月1日から1年生の実習等の授業と商船学科4年生の学年末の授業を、10月5日から、2年生と商船学科5年生の実習等の授業を、11月4日から3年生の実習等の授業を、12月8日から電子制御工学と流通情報工学科の4年生と5年生の実習等の授業を実施しました。冬休み明け1月15日まで遠隔で授業を実施し、18日より全学年対面での授業を実施しました。必要な授業時間の確保をすることができましたが、十分に学習させることが難しい1年でした。
- (2) 高専教育の質保証：現在、高専全体で、「学生が自ら成長できる環境の整備および教育の実践」に取り組んでいます。MCC(モデルコアカリキュラム：学生が卒業までに身に付けるべき知識や能力の具体的な到達目標として授業のシラバス作成)やCBT(Computer Based Testing：MCCに基づいた教育によって学生に力がついていることを証明するためのテスト)を既に実施しています。今年度、電子制御工学で、実験実習スキル計測を実施しています。来年度以降も様々な新たな取り組みが実施されます。

2. 学校の現状

- (1) 留年と退学：図1に、ここ10年間の留年率と退学率の推移を示します。令和2年度は、前年度に比べ留年率は下がりました。図2に、今年度の学科・学年別の留年者数(休学・退学者数を除く)を示します。4人の学生が進級できませんでした。退学者は9人(内2人は専攻科生)で、減少しました。今後も、この状況を維持しなければならないと思っています。
- (2) 仮進級学生：今年度、単位追認期間を2週間延長し、できるだけ未修得単位を持たないで進級できるように取り組みましたが、残念ながら35名の学生が未修得単位を持ったまま進級しています。1年生に4人、2年生に17人、3年生に6人、4年生に8人です。多くの学生は、追認期間中に単位の修得ができました。
- (3) ご協力をお願い：学校としましては、授業の改善はもちろんのこと、担任・学生指導関係・学寮・学生相談室等とさらなる連携をとりながら学生支援を行ってまいりますので、保護者の皆様におかれましても引き続きご協力の程よろしく申し上げます。

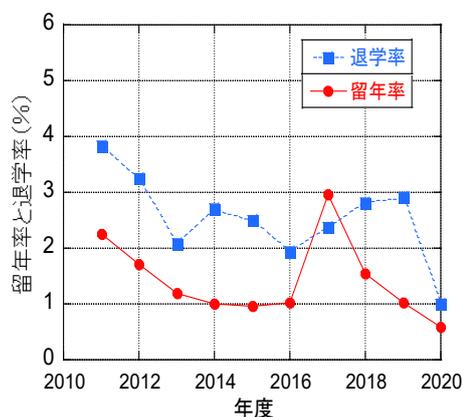


図1 留年率と退学率の推移

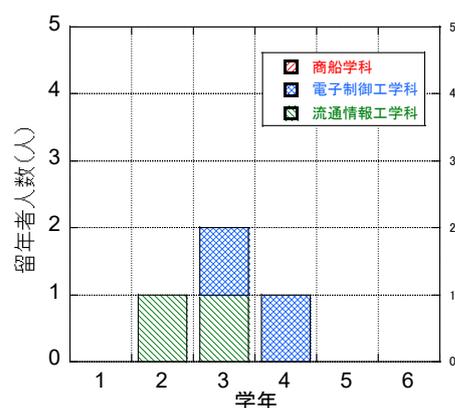


図2 留年者数

学生支援

学生主事 大和田 寛

奨学後援会への皆様には、課外活動等の様々な活動について多大なるご支援を頂き大変感謝しております。昨年度はコロナ禍の中、課外活動や学校行事の様々な変更があったにもかかわらず、多くの活動・行事等へ様々なご支援いただき、大変ありがとうございました。

新年度は学生の安全や感染症対策に十分な対策を講じつつ、課外活動を順次再開していきたいと考えております。新型コロナウイルスは予断を許さない状況ではございますが、学校の重要な使命でもある学生の人間的な成長のきっかけとなるように、感染症対策や安全面に配慮して様々な課外活動を実施していきたいと考えております。奨学後援会の皆様にもご協力を頂きまして、多くの課外活動をより良いものにしていきたいと存じますので、今後ともご支援いただければ幸いに存じます。学生支援に関して、以下に簡単にご説明いたします。

1. 就学支援・入学金や授業料の免除、各種奨学金制度について

1年生から3年生までの学生に関しては就学支援金制度により授業料の支援を行っています。4年生以上の学生には授業料免除の制度があり、令和2年度からは高等教育の修学支援新制度という新たな制度が始まりました。新制度では、授業料減免に加え奨学金の給付が行われます。旧来の授業料免除制度は新制度に置き換わりませんが、令和元年度に4年生以上に在学していた学生は、卒業または専攻科を修了するまで、新制度に加えて旧来の授業料免除制度を受けることができます。令和2年度は、50名が授業料免除制度の対象となりました。

その他、入学金や授業料等の免除、各種奨学金の案内や手続き等については、ホームページや電子掲示板で案内しておりますので、申請する場合は、学生係で必要な書類等を受け取り、期限内の提出をお願いいたします（学生係：0846-67-3023）。

2. 学生会活動支援

学生たちの自治組織として、学生会があります。会長をはじめとする学生会メンバーを中心として、様々な課外活動や商船祭やクラスマッチなどの学校行事に取り組んでいます。昨年度は、コロナ禍で多くの行事が実施できませんでしたが、そのような状況下でもクラスマッチを2回、商船祭に替わる景品大会等のイベントを実施することができました。コロナ禍の様々な制限があるにもかかわらず、自分たちができることを自ら考え計画し、仲間を集めて実施し、その結果多くの学生から好評を得たことは、学生が自信を持ち、成長に役立てることができたと考えております。今後とも学生自らが考える様々な活動について、側面から支援してまいります。

3. 課外活動支援

本校では、学生たちの心身の健全な育成のために17の体育系のクラブ・同好会、10の文化系のクラブ・同好会があり、放課後を中心に活動しています。昨年度は、活動が制限される中においても、卓球部やスキー競技をはじめとして様々なクラブが活躍し、プログラミングコンテスト全国大会課題部門優秀賞等、多くの学生が活躍しました。

学寮生活

寮務主事 小林 豪

1. 寮生数と再入寮制度について

○寮生数

令和2年6月に94名の新入寮生（男子69名、女子25名、編入学生1名、留学生1名、合計96名）を迎え入れ、全寮生数は436名となりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染の流行の為、入寮式が6月21日の開催となりました。

○再入寮制度

通学圏内中学生数が減ることで、寮生割合は高くなっています。本校の入寮期限は3年で、その後は再入寮手続きが毎年必要となります。その際、新入生の入寮希望者を優先させるため、学寮の収容人数の超過が予想される場合、生活態度が乱れている場合、公共交通機関を利用しての通学が可能な場合等に、再入寮を許可しないことがあります。これらの対応により、新入寮生の居室数を確保しています。

| 令和2年度（5月） | | | |
|-----------|-----|----|-----|
| 学年 | 男子 | 女子 | 合計 |
| 1年 | 69 | 25 | 94 |
| 2年 | 74 | 18 | 92 |
| 3年 | 77 | 14 | 92 |
| 4年 | 71 | 15 | 86 |
| 5年 | 66 | 6 | 72 |
| 合計 | 357 | 78 | 436 |

2. 寮生の現状

○新型コロナウイルス感染防止対応

若潮寮には、全国各地から学生が集まり集団生活を行っています。寮生は、学校の感染防止措置を理解し様々な感染拡大防止措置に従って生活しています。

新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化する状況下、文部科学省・厚生労働省・高専機構本部・広島県等の指導を参考とし、およそ以下のような感染予防に取り組みました。

- ・公共スペース（補食室、談話室、図書館等）：集団利用の制限
- ・寮食堂：座席数の削減、飛沫防止のパーティションを設置、寮食堂利用時間の延長。朝食のメニューをパンとおにぎりに変更して居室で喫食（食堂でも喫食可）。昼食は学校食堂ではなく喫食スペースの広い寮食堂に変更。配膳時の飛沫感染予防のため弁当形式に変更。
- ・居室：定期的な居室換気と整理整頓の徹底。2人部屋は仕切りのある居室のみを使用。
- ・浴場：シャワーのみ使用可能（帰寮後数日後は浴槽利用）。時間延長及び利用人数制限
- ・毎朝の検温・体調報告：従来の起床点呼をオンラインによる検温と体調報告に変更。
- ・外出・外泊の制限：島外に外出する際は、事前に外出届を提出し、感染リスクの高い場所への外出を制限。外泊は男女ともに外泊カードを提出。
- ・三密回避及び、手洗い・マスク・換気・消毒等の徹底：放送、掲示、巡回指導により、三密回避、手洗い・マスク着用・換気・消毒の励行。寮内各所に消毒液を設置し、建物に入る際、及び食堂への入退出時には手指の消毒の実施。入浴時、洗面時、喫食時、居室以外でのマスク着用。マスクやティッシュ等の専用ゴミ箱を設置し、これらのゴミは教職員が対応。
- ・体調不良の学生が出た場合には、学校医、保健所と連携し対応しています。

○寮の修繕工事

令和3年4月より、女子寮生の増加に伴い、これまで男子寮生が利用していた1棟（A棟）の2・3階を、女子学生の居住区とし、1棟（1階は男子高学年、2・3階は女子）、2棟（女子）、3・4棟（男子1～3年）、5棟（男子4・5年）となります。これにより4・5年生は全員1人部屋となります。また、各棟各階補食室に備え付けていたガスコンロをIHコンロに変更します。

マスクの着用により、寮生の表情がはっきりと分からない状況を危惧していますが、外泊や外出の制限に加え様々な制約がある生活となっているなか、寮生はよく頑張っています。

集団生活では一人の身勝手な行動が大きな影響を及ぼすことを理解し、互いに協力し責任ある行動がとれる学生に成長することを期待しています。

広報活動

広報主事 平井 剛和

1. 令和2年度の主な取組

例年実施している活動は以下ですが、新型コロナウイルス感染症のためほとんどの活動が中止となりました。

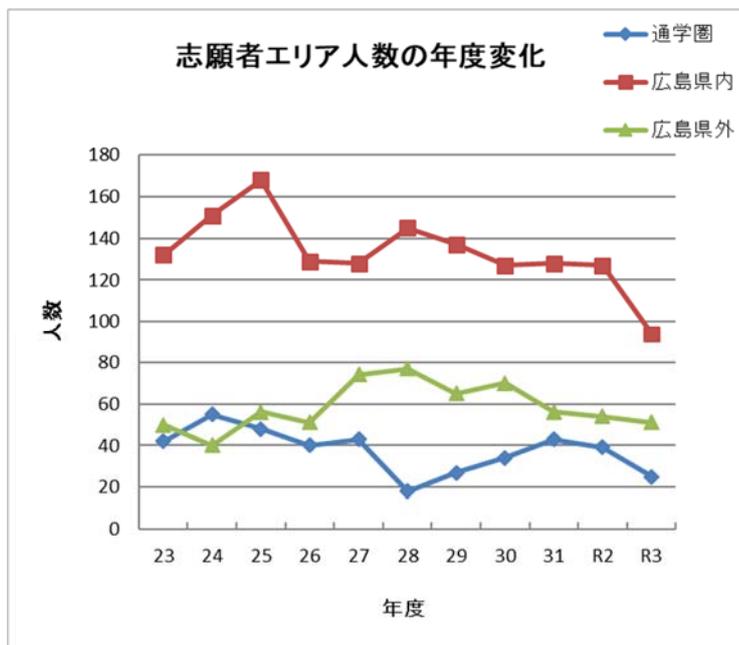
- ・ 4月 大崎上島中学校の宿泊研修（本校若潮会館に宿泊）に協力 → 中止
 - ・ 6月 商船系高専5校合同進学ガイダンス（神戸） → 中止
国公立高専合同説明会（東京） → 中止
 - ・ 7月 進学説明会（広島市）を実施 → 中止
 - ・ 8月 商船系高専5校合同進学ガイダンス（横浜） → オンラインに変更 参加
公開講座 オープンスクール（第1回目）を2日間実施 → 中止
 - ・ 9月 合同学校説明会（福岡） → 資料送付のみ
 - ・ 10月 オープンスクール（第2回） → 人数制限を設けて4日間実施
進学塾（田中学習会・明光義塾・ノーベル学習館など）の進学説明会参加 → 中止
ノーベル学習館進学説明会にオンラインで参加
- その他 県内中学校からの要望による出前授業や進路説明
進路説明会 17校 出前授業 1校
県内の中学校を訪問（主事・特命教授）

2. 入学生の状況、情報の共有

今年の志願者は170名(本校を第一希望もしくは専願者数は141名)となり前年度に比べ約50名程度減少しました。

通学圏以外の広島県内の志願者が大きく減少しましたが、これは広報活動の不足が大きな原因と考えられ、新型コロナウイルス感染症への不安も原因と考えられます。通学圏からの志願者減は前年度合格ラインが上がったことも要因であると考えています。県外からの受験者数はコロナ禍にあって、ほぼ同程度であったと考えています。

今後の広報活動も制限された形での実施となりますが、学生主体の広報活動、学生による学校紹介や女子学生の活躍等を発信できるようにしたいと考えています。



3. 今年度の取組

- (1) 中学校（中学校教諭）との連携強化
- (2) 教育コーディネータの配置(2人)
- (3) 本校主催の進学ガイダンスを広島で開催予定（6月）
- (4) 本校でのオープンスクール（8月 10月 に人数制限を設けて4回ずつ開催）

進路指導 一商船学科一

商船学科 就職担当 茶園 敏文, 内山 憲子

1. 進路概要

図1に商船学科の過去5年間（平成28年度～令和2年度）の進路状況を示します。全体の傾向として、航海コース・機関コースともに平均すると約7割が海上職、約1.5割が陸上職、残り1割が進学といった状況です。

令和3年9月に卒業予定学生の進路状況（内定状況）を表1に示します。令和2年度5年生は、約73%の学生が船員としての海上就職予定となりました。そのうち、外航船員として内定が4名、内航船員として内定が31名（合計35名内定）となっています。

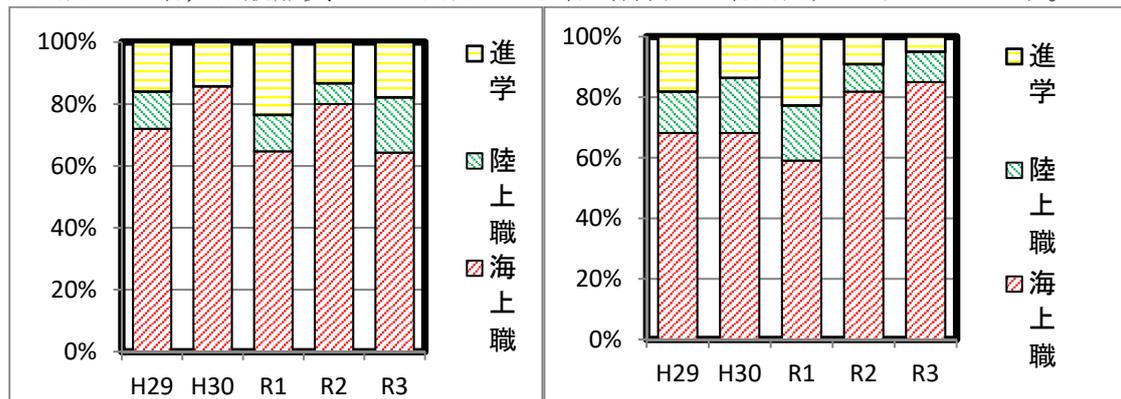


図1 過去5年間の進路状況（左：航海コース，右：機関コース）

表1 令和3年9月卒業予定学生の進路状況

| | | | |
|------------|--------|--------|--------|
| 航海コース（28名） | 海上：18名 | 陸上：5名 | 進学：5名 |
| 機関コース（20名） | 海上：18名 | 陸上：2名 | 進学：1名 |
| 商船学科（48名） | 海上：73% | 陸上：15% | 進学：12% |

2. 求人・求職の傾向

近年の求人は、外航船社ではもちろんですが内航船社においても2級海技士の筆記試験合格を入社条件としている会社も多いため、よりレベルの高い資質が求められています。

海上職・陸上職ともに、就職に際しては基礎基本の知識を有していることは当然のことながら、社会人としての責任感・協調性・社会性などのコミュニケーション能力が強く求められる傾向にあります。

海上職を目指す学生の場合、外航を志望する学生は毎年一定数いますが、数ヶ月から数週間の短期航海の内航船員を希望する学生もいます。

3. 進路指導

(1) 低学年に対して：学科長や就職担当者がホームルームの時間を利用して、就職や進学を含めた進路についての指導を行っています。不定期ではありますが、造船所見学や本校練習船の寄港地での港湾施設見学等も取り組んでいます。卒業生の講演等の機会を設定して海事関連の仕事に対する理解を深める取り組みも行っています。

(2) 高学年に対して：商船学科では担任と就職担当を中心に、本人の希望・適性・成績等を踏まえ、希望調査・個人面談等を行いながら進路を決定しています。

5年生は帰校後、直ちに就職活動が開始されます。

(3) 今年度は、コロナ禍により企業による会社説明会も実施できませんでした。学生の入社試験用の資料も遠隔にて対応し、会社へ提出書類を送付しました。

進路指導－電子制御工学科－

電子制御工学科 就職担当 成清 勝博

1. 進路の概況

令和2年度の求人状況は、求人企業数が538社であり、新型コロナの影響はほとんどなく非常に恵まれた状況でした。今年度も学生達の努力の結果、卒業生37名のうち3名が進学し、33名が就職します。就職先の職種としては、エンジニアとして機械、電気、情報、制御等の専門的な技術の仕事に携わります。

2. 進路状況

(1) 就職

卒業生の就職先の業種は70%が製造業で、その職種は工場の生産ラインの設計や保守・管理などになります。また、約15%がサービス業で、エレベーターやエスカレーター、空調設備、OA機器などのメンテナンスを行います。運輸・通信分野は約8%です。今年度は、21%の卒業生が県内の企業に就職し、中四国地区の企業に就職する学生を含めると33%の学生が、中四国地区で活躍します。下表に卒業生の進路先を示しています。

(2) 進学

進学の割合は8%です。

大学への進学者は1名、本校専攻科への進学者は2名です。

令和2年度卒業生の進路先(電子制御工学科)(R3.3.31現在)

| | 内定進路先 | 人数 | 内定進路先 | 人数 |
|----|------------------------|----|------------------|----|
| 就職 | 富士電機 | 1 | 出光興産 | 3 |
| | メタウォーター | 1 | ダイキン工業 | 2 |
| | マツダ E&T | 1 | 三菱電機ビルテクノサービス | 1 |
| | 富士フイルムメディカル | 1 | 東京都下水道サービス | 1 |
| | メンバーズ | 1 | 前川製作所 | 1 |
| | フジテック | 1 | 岡山村田製作所 | 1 |
| | 矢崎総業 | 1 | 日本オーチス・エレベーター | 1 |
| | パナソニックシステムソリューションズジャパン | 1 | リコージャパン | 1 |
| | マイスターエンジニアリング | 1 | JFE スチール | 1 |
| | サントリーホールディングス | 1 | 関西電力 | 1 |
| | 東京電力ホールディングス | 1 | 東芝 IT サービス | 1 |
| | 大気社 | 1 | 三菱電機システムサービス | 1 |
| | ダイキン HVAC ソリューション中四国 | 1 | クボタ建設 | 1 |
| | NTT コムソリューション | 1 | 三菱電機プラントエンジニアリング | 1 |
| | やまみ | 1 | セトウチ | 1 |
| 進学 | 豊橋技術科学大学 | 1 | 広島商船高等専門学校専攻科 | 2 |

進路指導—流通情報工学科—

流通情報工学科 進路指導担当 岩切 裕哉

1. 進路指導（学科の取り組み）

5 年学級担任が進路指導を担当し、学科全体で連携を取りながら指導にあたっています。就業意識を高める試みとして、1) 低学年時からの就職講義の導入、2) 4年生全員のインターンシップ参加、3) OB・OGによる講演会、4) 職業適性試験・基礎能力試験の実施などの多岐にわたる就職支援プログラムを実施しています。また、公務員志望者の学生を応援し受験を突破する実力をつけるため、公務員講座を開催しています。

2. 進路の概況

令和2年度の卒業生は36名（男子21名、女子15名）です。このうち、就職希望者は35名、進学希望者は1名となっています。就職先企業の業種の内訳については、情報通信業が37%、物流業が34%、製造業が11%、その他 サービス業などが続きます（図1）。今年度は、関東地方が60%、関西地方が11%、そして、26%の卒業生が広島県を含む中国地方の企業に就職しています（図2）。関東地方に行く卒業生は情報通信業が多い傾向にはありますが、最初の数年の研修後には広島を中心として中国地方に配属されるケースも多いようです。表1に卒業生の進路一覧を示しています。

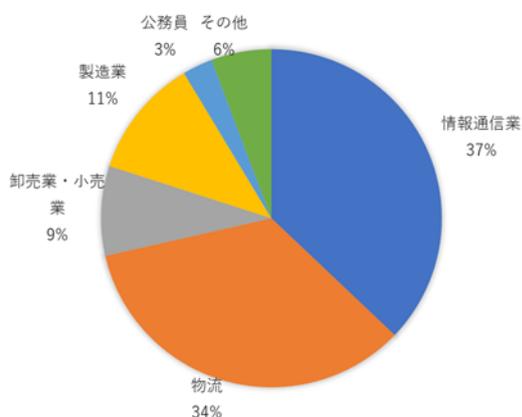


図1 業種別就職先

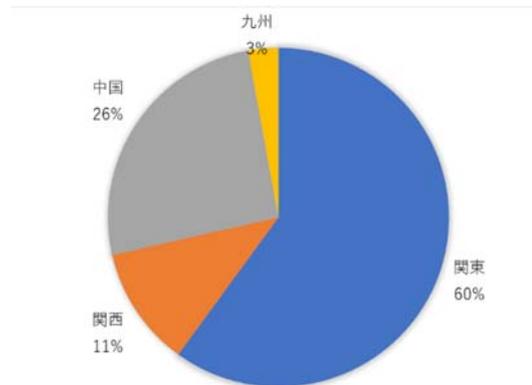


図2 地域別就職先

表1 進路一覧

| | | |
|----|------------|--|
| 就職 | 情報 | (株)インフォコム西日本, NTTコムソリューションズ(株), NTT東日本グループ, CTCテクノロジー(株), (株)セゾン情報システムズ, 日通情報システム(株), (株)日立ハイテク, 富士ソフト(株), 富士通(株), (株)富士通エフサス, 富士通エフサスシステムズ(株), (株)メンバーズ, リコージャパン(株) |
| | 物流 | 川崎陸送(株), ゲイソー・ロジスティクス(株), ケイヒン(株), 山九(株), シモハナ物流(株), (株)ティーユーロジネット, (株)日陸, (株)ヒロクラ, (株)安川ロジステック |
| | その他 | 大崎上島町, (株)コンヴェアノ, 山陽工業(株), 大和製罐(株), 東京都下水道サービス(株), (株)なかやま牧場, パナソニック(株)グローバル調達社, (株)パル |
| 進学 | 穴吹ビジネス専門学校 | |